

武蔵野ステークス

本命はエアスピネル。

近親に 9 歳で JRA 重賞を連対したエアシェイディ。

何度も指摘しているように、高齢になっても走る母系で得意のコースなら昨年同様のパフォーマンスは発揮できそう。

近走は結果的に馬場、枠順が不利なレースに出続けています。

先週同コースの錦秋 S で人気薄 2 着のガンダルフもキングカメハメハ産駒でマーカンド騎手騎乗。

勝ち馬も母父キングカメハメハ。

キングマンボ系走りやすい馬場も歓迎。

相手も父か母父キングマンボ系を重視。

デイリー杯2歳ステークス

当レース、今年の2歳重賞もディーパインパクトの血を持つ馬が重要。

なかでも、当コースは父か母父ノーザンダンサー系とディープ系の組み合わせが走りやすい舞台。

本命はショウナンアレクサ。

父はディープ系のキズナ。
母父はダンチヒ系のオラトリオ。

2歳短距離戦に強いオセアニア指向の強い
母父、母母父で、距離短縮、2歳戦も歓迎。